

## 令和6年8月分の総合解析評価結果 第29週 (7/15) ~ 第33週 (8/18)

7月22日に九州北部地方(山口県を含む)は梅雨明けしたと発表され、その後例年以上の危険な暑さが続いている。山口県中部では、7月28日から8月18日の間、連日最高気温35℃以上の猛暑日を記録した。一方、8月8日には日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生、気象庁は南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を初めて発令した。8月9日には神奈川県で震度5弱の地震があったが南海トラフ地震とは関連はないと専門家は指摘している。

7月26日から8月11日の期間、第33回オリンピック競技大会がフランス・パリで開催され世界中が熱狂した。日本は多くの選手が奮闘し、金20個、銀12個、銅13個と45個のメダルを獲得した。

8月14日にWHOはエムポックスについて「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を発表した。アフリカ地域で流行が急拡大しているエムポックスウイルススクレードIbは、性的接触や家庭内感染により拡大していると報告されており注視したい。

県内の新型コロナウイルス感染症は、7月は増加傾向であったが、8月に入って第30週をピークに報告数が急速に減少している。1医療機関あたりの発生数は第30週が17.87で、第33週は4.57となっている。全国的にも減少傾向の都道府県が多い。今後の発生状況がどうなっていくのか注目される。

インフルエンザは昨年の同時期は定点あたり2.65と夏にしては異常に多く、9月に入ると急増しそのまま流行が継続した。現時点では、定点あたり0.61で昨年に比べて少ないが、防府、周南、山口で発生が続いており監視が必要である。検出したウイルス株はすべてインフルエンザウイルスA/H1pdm09であった。

大流行していた手足口病はピークを過ぎた様であるが、直近の1か月の発生数は長門以外の県内全域でまだ警報レベル(定点あたり5以上)が続いており注意が必要である。今回の流行で検出されたウイルスは、前半はコクサッキーウイルスA6型で、後半はコクサッキーウイルスA16型である。RSウイルス感染症は2021年、2023年とほぼ同じ時期の流行であり、発生報告は前年の約半分くらいで流行は収まりつつあるように見えるが宇部、岩国ではまだ多い。1年前から多発していたA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少したが一定数は報告されている。感染性胃腸炎の報告は萩、宇部、周南からが多い。小児科定点からの病原体確認例では、カンピロバクター12例、サルモネラ5例、ノロウイルス16例、ロタウイルス9例が報告された。

減少傾向の疾患が多い中、マイコプラズマ肺炎が増加しており、小児科定点からの病原体確認例で207例が診断された。内訳は岩国で特に多く139例、周南で35例、下関で27例となっている。今後さらに増加すると予想される。

### インフルエンザ/COVID-19 定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点(週報)(第29~33週)

インフルエンザ:203人、新型コロナウイルス感染症:4,553人、RSウイルス感染症:692人、咽頭結膜熱:27人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:461人、感染性胃腸炎:499人、水痘:11人、手足口病:2,755人、伝染性紅斑:2人、突発性発しん:68人、ヘルパンギーナ:428人、流行性耳下腺炎:2人、流行性角結膜炎:20人、細菌性髄膜炎:0人、マイコプラズマ肺炎:45人、無菌性髄膜炎:1人、感染性胃腸炎(ロタウイルス):0人

### STD 定点及び基幹定点(月報/7月) ※梅毒等の全数把握STDを除く(全数に記載)

性器クラミジア感染症:34人、性器ヘルペスウイルス感染症:7人、尖圭コンジローマ:6人、淋菌感染症:10人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症:34人、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:0人

### 小児科定点からの病原体・抗体価確認例等(第29~33週)

カンピロバクター腸炎:12人、病原大腸菌腸炎VT(+):2人、病原大腸菌腸炎VT(-):2人、サルモネラ腸炎:5人、ロタウイルス胃腸炎:9人、アデノウイルス胃腸炎:2人、ノロウイルス胃腸炎:16人、マイコプラズマ肺炎:207人、アデノウイルス急性咽頭扁桃炎:71人、hMPV感染症:29人、ヘルペス歯肉炎:4人、川崎病:0人

### 1,2,3,4類及び5類(全数)感染症発生状況(第29~33週)

結核:18人、腸管出血性大腸菌感染症:2人、重傷熱性血小板減少症候群:1人、レジオネラ症:4人、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:1人、急性脳炎:2人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症:2人、後天性免疫不全症候群:1人、侵襲性インフルエンザ菌感染症:1人、侵襲性肺炎球菌感染症:1人、水痘(入院例):1人、梅毒:6人

### 鈴木検査定点情報 (7/15～8/18)

◆RSウイルス感染症：73名 ◆溶連菌感染症：31名 ◆感染性胃腸炎：127名 ◆手足口病：223名  
◆突発性発疹：4名 ◆ヘルパンギーナ：51名 ◆インフルエンザA：6名 ◆アデノウイルス腸炎：1名  
◆アデノウイルス咽頭扁桃炎：15名 ◆hMPV感染症：6名 ◆COVID-19：106名  
◆熱性けいれん：5名(アデノウイルス咽頭扁桃炎1名、手足口病2名、突発性発疹2名)  
<SpotFireによる検出>◆パラインフルエンザ：2名 ◆ライノウイルス/エンテロ感染症：17名

### 徳山中央病院入院患者情報 (7/21～8/20)

7月から8月にかけても入院患者は比較的多く、マイコプラズマ肺炎やRSV感染症が多かった。  
◆RSウイルス感染症：8例(細気管支炎6例、気管支炎2例)  
◆COVID-19：2例(2か月女児2例) ◆手足口病：4例(6か月男児、7か月女児、11か月女児、3歳女児)  
◆マイコプラズマ肺炎：5例(1歳男児、5歳男児、6歳男児、8歳男児、9歳男児)  
◆溶連菌感染症：1例(2歳女児) ◆尿路感染症：1例(1か月男児：E. coli)  
◆川崎病：3例(3か月女児、1歳女児、3歳男児)  
◆熱性けいれん：6例(11か月女児、1歳男児2例、3歳男児2例、4歳男児)

### 山口赤十字病院情報 (7/15～8/14)

◆RSウイルス：院内検査陽性例16名、入院計39名。再度増加。  
◆マイコプラズマ：迅速陽性1名。LAMP陽性1名。県東部では流行中。  
◆インフルエンザ：少数あり。家族2名の入院あり。 ◆おたふくかぜ：見られず。  
◆水痘：見られず。 ◆溶連菌感染症：少し減ってきたか。 ◆蜂窩織炎2名(うち1名が溶連菌感染)  
◆ヘルパンギーナ：目立たず。 ◆アデノウイルス：咽頭扁桃炎、腸炎とも少数あり。  
◆感染性胃腸炎：ノロ少数あり。8月22日ごろスポーツ遠征で食中毒?の方受診あり。  
◆手足口病：病院では目立たない。入院に至った方少数あり。 ◆伝染性紅斑：見られず。  
◆hMPV感染症：院内陽性例なし。陽性判明後の紹介入院1名。 ◆流行性角結膜炎：見られず。  
◆COVID-19：5類移行後の入院患者 累計252(8/26まで 今月31人)  
◆川崎病：確定例4人 いずれもIVIg 1クールで改善 確定できずに退院した10か月女児 退院後冠動脈  
拡大傾向あり、フォロー中。

### 下関地域感染症サーベイランス (7/15～8/18)

◆新型コロナウイルス感染症：450例(15歳以上 399例) ◆インフルエンザA：17例  
◆ヘルパンギーナ：88例 ◆手足口病：664例 ◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：123例 ◆突発疹：16例  
◆感染性胃腸炎：124例 ◆VT(+)大腸炎：2例 ◆VT(-)大腸炎：2例  
◆カンピロバクター腸炎：4例 ◆サルモネラ腸炎：1例 ◆ノロウイルス胃腸炎：5例  
◆咽頭結膜熱：7例 ◆アデノウイルス扁桃炎：14例 ◆RSウイルス感染症：152例 ◆hMPV感染症：5例  
◆ヘルペス口内炎：2例 ◆マイコプラズマ肺炎：3例

### <済生会下関総合病院小児科 入院症例>

◆RSV感染症：17例(0歳1か月～2歳9か月) ◆COVID-19：6例(0歳2か月～4歳)  
◆細菌性気道感染症 3例(2歳8か月；BLPACR、2歳4か月；BLNAR、9歳；BLNAS)  
◆川崎病：3例(0歳11か月～8歳) ◆AFBN：2例(2歳0か月、6歳) ◆SSSS：2例(3歳、5歳)  
◆溶連菌感染症：2例(6歳、11歳)  
◆インフルエンザA 4歳 ◆手足口病 0歳1か月 ◆ヘルパンギーナ 0歳4か月  
◆急性腎盂腎炎 0歳0か月(E. coli) ◆蜂窩織炎 9歳(Streptococcus pyogenes)

### 岩国医療センター感染症事例 (7/15～8/18)

◆COVID-19：小児 25例 成人 163例  
◆RSウイルス感染症：32例 ◆インフルエンザA：4例  
◆hMPV肺炎：1例 ◆ヘルパンギーナ：3例 ◆手足口病：16例  
◆マイコプラズマ肺炎 35例(13例入院 急性壊死性脳症1例 5歳)  
◆急性胃腸炎：15例 ◆川崎病：3例(7か月、9か月、4歳)  
◆急性糸球体腎炎：1例 ◆血小板減少性紫斑病：1例  
◆急性虫垂炎：3例

[8月の多報告順位] (○内数字は前月順位)

- 1) ②新型コロナウイルス感染症
- 2) ①手足口病
- 3) ⑤RSウイルス感染症
- 4) ③感染症感染性胃腸炎
- 5) ④A群溶血性レンサ球菌咽頭
- 6) ⑥ヘルパンギーナ
- 7) ⑦マイコプラズマ肺炎
- 8) ⑩インフルエンザ
- 9) ー流行性角結膜炎
- 10) ⑧突発性発疹

注) 月報中の患者報告数・定点当たり報告数について  
週報において、定点医療機関から極端に多い(または少ない)数が報告されたものについては、  
感染症発生動向調査解析評価小委員会で検討を行い再集計した結果を掲載しています。

1,2,3,4類及び5類(全数)感染症発生状況

区分	疾患名	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	2024年累計
1類感染症	エボラ出血熱						0
	クリミア・コンゴ出血熱						0
	痘そう						0
	南米出血熱						0
	ペスト						0
	マールブルグ病						0
2類感染症	ラッサ熱						0
	急性灰白髄炎						0
	結核	2	2	5	5	4	96
	ジフテリア						0
	重症呼吸器症候群						0
	中東呼吸器症候群						0
3類感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)						0
	鳥インフルエンザ(H7N9)						0
	コレラ						0
	細菌性赤痢						0
	腸管出血性大腸菌感染症			1	1		12
	腸チフス						0
4類感染症	パラチフス						0
	E型肝炎						0
	ウエストナイル熱						0
	A型肝炎						2
	エキノコックス症						0
	黄熱						0
	オウム病						0
	オムスク出血熱						0
	回帰熱						0
	キャサスル森林病						0
	Q熱						0
	狂犬病						0
	コクシジオイデス症						0
	エムボックス						0
	ジカウイルス感染症						0
	重症熱性血小板減少症候群				1		8
	腎症候性出血熱						0
	西部ウマ脳炎						0
	ダニ媒介脳炎						0
	炭疽						0
	チクングニア熱						0
	つつが虫病						0
	デング熱						0
	東部ウマ脳炎						0
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)						0
	ニパウイルス感染症						0
	日本紅斑熱						6
	日本脳炎						0
	ハンタウイルス肺症候群						0
	Bウイルス病						0
	鼻疽						0
	ブルセラ症						0
	ベネズエラウマ脳炎						0
	ヘンドラウイルス感染症						0
	発しんチフス						0
	ボツリヌス症						0
	マラリア						0
	野兔病						0
	ライム病						0
	リッサウイルス感染症						0
リフトバレー熱						0	
類鼻疽						0	
レジオネラ症	1		2	1		17	
レプトスピラ症						0	
ロッキー山紅斑熱						0	
5類感染症	アメーバ赤痢						2
	ウイルス性肝炎						0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				1		15
	急性弛緩性麻痺(灰白髄炎を除く)						0
	急性脳炎					2	9
	クリプトスポリジウム症						0
	クロイツフェルト・ヤコブ病						2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		1	11
	後天性免疫不全症候群			1			7
	ジアルジア症						0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					5
	侵襲性髄膜炎菌感染症						0
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					15
	水痘(入院例)					1	7
	先天性風しん症候群						0
	梅毒	2		2	2		55
	播種性クリプトコックス症						2
	破傷風						0
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						0
	百日咳						5
	風しん						0
	麻しん						0
薬剤耐性アシネトバクター感染症						0	

2024年8月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	合計
	7/15-7/21	7/22-7/28	7/29-8/4	8/5-8/11	8/12-8/18	
カンピロバクター腸炎	4	1	1	2	4	12
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	1	1	0	2
病原大腸菌腸炎 VT(-)	1	0	1	0	0	2
サルモネラ腸炎	1	3	0	1	0	5
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	4	1	4	0	0	9
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	2	0	0	2
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	5	3	3	4	1	16
マイコプラズマ肺炎	36	41	57	50	23	207
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	16	22	18	11	4	71
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	6	10	3	7	3	29

臨床診断例

	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	合計
	7/15-7/21	7/22-7/28	7/29-8/4	8/5-8/11	8/12-8/18	
ヘルペス歯肉口内炎	1	0	1	2	0	4
川崎病	0	0	0	0	0	0

\*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

2024年8月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
カンピロバクター腸炎	1	1	5	0	1	0	0	0	4	12
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
病原大腸菌腸炎 VT(-)	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
サルモネラ腸炎	0	1	0	0	0	2	0	2	0	5
ウイルス性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9
ウイルス性胃腸炎 (アデノウイルス)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス)	4	0	0	0	3	3	0	1	5	16
マイコプラズマ肺炎	139	1	35	0	0	2	0	3	27	207
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	2	0	24	0	4	31	1	1	8	71
クラミジア呼吸器感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス 感染症	0	0	18	0	0	7	0	0	4	29

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	岩国市 和木町	柳井市 周防大島 上関町 田布施町 平生町	周南市 下松市 光市	防府市	山口市	宇部市 美祢市 山陽小野田市	萩市 阿武町	長門市	下関市	
ヘルペス歯肉口内炎	0	0	1	0	0	1	1	0	1	4
川崎病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。









## 2024年8月分週別集計表

	第29週	第30週	第31週	第32週	第33週	合計	備考
	7/15-7/21	7/22-7/28	7/29-8/4	8/5-8/11	8/12-8/18		
インフルエンザ	50	26	40	73	14	203	
新型コロナウイルス感染症	1,047	1,197	1,092	911	306	4,553	
RSウイルス感染症	113	189	190	142	58	692	
咽頭結膜熱	6	5	9	6	1	27	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	121	99	100	101	40	461	
感染性胃腸炎	109	103	132	128	27	499	
水痘	2	4	4	0	1	11	
手足口病	587	741	619	569	239	2,755	
伝染性紅斑	0	2	0	0	0	2	
突発性発しん	13	15	14	19	7	68	
ヘルパンギーナ	96	147	90	81	14	428	
流行性耳下腺炎	0	0	1	0	1	2	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	3	4	4	2	7	20	
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	5	8	8	13	11	45	
無菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	1	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	







